MADOKAEN NEWS LETTER

ソレイユ

2022年 春号

社会福祉法人　慶和会
障害者支援施設　まどか園
福岡県大野城市大字瓦田127-48
理事長：早川和也
編集・発行：広報委員会
TEL:092-504-6537

↑「開園20周年記念・おたのしみ会」（P.2）や「2021クリスマス会」（P.3）のステージで披露するピアノ演奏の練習に取り組むO口さん。彼女はピアノの鍵盤を心の目で見つめそのメロディーを奏でるブラインドアーチストなのだ。

まどか園は20周年を終え、また新たな一歩を踏み出しました

令和３年11月１日にまどか園は、開園20周年を迎える事が出来ました。これもひとえに利用者の皆様、職員の皆様、関係者の皆様のご協力とご支援の賜物でございます。この場をお借りし、あらためて心より感謝申し上げます。

開園当時を振り返りますと、理事長であった母陽子は「暖かい家庭のような園にしたい」との想いで、素人ながらに始めた身体障がい者福祉事業に日々東奔西走する日々でございました。施設長であった父敏昭は「福岡県職員時代のノウハウを活かし、健全な運営を行いたい」と定年後の第二の人生に全力を注いでおりました。それから20年の間に利用者・職員・関係者の皆様も多くの入れ替わりがあり、開園当時を知る人が少なくなってしまいました。しかしそんな両親の想いが詰まったこのまどか園をしっかりと守っていく事が、創始者の娘である私の役目だと思っております。雲の上から見守ってくれている両親に恥じないよう、日々自問自答しながらよりよい施設を目指し、邁進して参ります。これからもまどか園をよろしくお願い致します。　〈副施設長:松尾(旧姓:鶴田)奈津輝〉

10月 イベント

笑いあり涙ありのスペシャルな1日となりました

開園20周年記念・おたのしみ会

例年であれば10月と言えば「まどか園祭り」なのですが、コロナ禍ということで前回に引き続きお客さんを呼ばない「お楽しみ会」とさせていただきました。しかし今回は11月に開園20周年を迎える記念の年…何としてでも盛り上がりたい。そんなスタッフの思いを汲んで、思わぬ救世主が立ち上がってくれました。我が園の嘱託医であられる田中夏樹先生が手作りの衣装でカラオケを熱唱してくれたのです。これが大ウケ！ 何から何まで救って頂きありがとうございました(T_T)

↑左／会の最後にみんな揃って記念撮影。この笑顔からどんな会だったかはお察しください。右上／ステージで光GENJIに扮して「パラダイス銀河」を披露してくださった田中先生。園内に笑いの渦が巻き起こりました。右下／「20年の歩み」スライドの上映会では懐かしい面々の写真も観られ涙する方も。

11月 イベント

懐は寒くてもおなかはホクホクだ

焼き芋大会

この冬も玄関前にて芋を焼いて、皆で美味しくいただきました。今回の芋は紅さつまに紅はるかにシルクスイート。前回はここに安納芋も加わっていたのですが、今回は値段高騰につき見合わせられたとのこと…。せ、切なっ！ しかしまあ、ないものを嘆くよりあるものを楽しみましょう。懐は寒くてもおなかがホクホクになればいいじゃないですか。準備して下さった用務員の埋金さんに感謝。

11月 イベント

発表会はオンラインで動画配信

ふくしフェスティバル

福祉について関心をもってもらうこと、そして大野城市民の地域福祉活動を推進することを目的とした大野城市主催のこのイベント。昨年はオンラインの動画配信という方法で執り行われることとなり、我が園も合唱の様子を動画で撮影し参加させていただきました。曲目は「一休さん」なぜか中央にはヌンチャクを振り回すスタッフが…。まあ少林寺に修行にでた一休さんって設定なのでしょう(^^;

12月イベント　良い年になるように祈ろうよ
2021クリスマス会

左頁の「お楽しみ会」同様、昨年も利用者さんのご家族を呼ばないクリスマス会とさせていただきました。それでも皆、笑顔を忘れず楽しみました。しかし、昨年はコロナ…今年は戦争まで…。「良い年になるように祈ろうよ」そう歌っていたジョンレノンの「ハッピークリスマス」がほんとに沁みる世の中になってしまいました。一刻でも早く、心の底から笑える日がくることを願っております。

2月イベント　今年はダイエットデーにしましょ
バレンタインデザート

まったくもうコロナコロナで何もかもが縮小の嵐。そんな中、バレンタインデーもいつもであればデザートバイキングを楽しんでいたのですが、今年は昼食に一皿を選べるのみ。ガトーショコラかチョコレートババロアかレアチーズケーキか。なんだよこれじゃあダイエットになり痩せてしまうじゃん…。ん？それはいいことか。な～んだコロナ禍のせいでいいこともあるんですね。と、前向きに考えていきましょ。

徒然日記

日常のスナップショット。何気ない普段の生活も「まどか園」の大切な一日です。あんなことやこんなこともありました。

カラオケ大会で「笑顔が素敵だったで賞」に輝いたO﨑さん。この笑顔ですから無敵です。

厨房スタッフのチョコレートアートにご満悦のF井さん。

表紙にも登場したO口さんの師匠は音楽療法士の野間さん。師匠越えをめざして今日もレッスン。

通所部では新年が無病息災で良い年になりますようにとまどか園神社を作ってお祈りしました。

通所部のまどか園神社にて菩薩代理の園長にいっぱいお願いごとをしました。宜しく園長！

正月には新見園長からお神酒が振舞われました。酔っぱらわないよう少しだけ、おかわりはなしよ。

コロナ禍で外に遊びにも行けない子どもたちのために台車アトラクションを考えたスタッフ。◎

餅つきも中止…厨房で作ってもらった嚥下しやすい代替餅をみんなで美味しくいただきました。

四枠漫画

毎日まどか園 vol.5

作：鞘野 明
まどか園の生活支援員。漫画好きが高じて自らもペンをとるアマチュア漫画家。その風貌から「和尚」と呼ばれ親しまれている。

新人歓迎

令和3年10月～令和4年3月に加わった新しい職員を紹介します。フレッシュパワーで頑張りますので名前と顔を覚えていただけましたら幸いです。

生活支援員

吉田　愛

介護福祉士の吉田です。この度生活支援員として働くことになりました。好きな言葉は“頑張ったことは無駄じゃない！”です。皆様の毎日の明るい笑顔がパワーの源です。どうぞ宜しくお願いします。

理学療法士

山口貴史

11月からお世話になっている山口です。名前はタカフミと読みますので覚えてもらえると嬉しいです。理学療法士として頑張りますので何かあればすぐにお声がけください。宜しくお願いします。

募集告知

現在「まどか園」では、通所(生活介護)および短期入所(ショートステイ)、放課後等デイサービスの利用を希望されている方を募集しています。詳しい情報はTEL092-504-6537までお問合せください。

編集後記

エイブルアート、アウトサイダーアート、アールブリュットetc.　障害者による表現は昨今様々なカテゴリー名で呼ばれています。もともとは壁をなくすために生まれた言葉なのでしょう。しかし皮肉なことにそんな言葉が生まれた時点でまた新たな壁が出来てしまっているような気がします。漫画のI田さんにはそんな壁をぶち壊すアーチストになってくれることを期待しています。〈編集部：浅草〉